H28 アクションプラン　上半期の振り返りと今後のアクションシート　事業№34

①事業の基礎情報

事業名		いきいき号循環事業				担当部・グループ名		市民総合窓口センター 市民生活グループ			
実施期間		平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名		芝田　啓二			
新規・継続の別		**継続事業**				電話番号(内線)		52-1111(内線 260)			
総合計画（基本計画）体系	個別目標	(8)ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります				予算書上の予算・事業名	款	7款　商工費			
							項	1項　商工費			
	こんなことに取り組みます	安全・安心・便利に移動できるよう道路を整えるとともに、公共交通の利用も促進します。					目	4目　コミュニティ交通費			
							事業名	1　いきいき号循環事業			
						総合戦略		□該当する　■該当しない			
	みんなで目指すまちづくり指標名	暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合									
		現状値(H25)	67	実績値(H26)	64	実績値(H27)	63	実績値(H28)		目標値(H29)	72	(単位) %

②事業の概要

目的 （何をどうするために）	★「いきいき号」の運行についてのアンケートを毎年度実施し、その結果を運行方針に反映する。 ・主要公共施設、地域拠点及び主要駅を連絡する。 ・医療機関、大型店舗等の商業施設を連絡する。 ・高齢者等の交通弱者の乗降に配慮する。 ・乗車時間を可能な限り短縮する。		
対象(誰・何を対象に)	市民	対象の数量	46,892 人
最終目標 （最終的に何がどうなれば達成か）	☆いきいき号循環事業は、交通弱者の移動のためのセーフティーネットであり、路線を維持することが最終目標である。したがって路線維持のための目安として、平成 24 年度の年間利用者 25,668 人を基準に年間利用者数 25,000 人以上の確保を路線維持のための目標とする。		

③事業にかかる事業費概要

平成 28 年度（当初予算額）				主な内容
事業費総額（千円）			22,314	・いきいき号循環事業費等補助金 22,189 千円 ・その他事務費等 125 千円
財源内訳	一般財源		22,314	
	特定財源	国・県支出金	―	
		その他	―	
補助事業・単独事業の別			単独事業	

④上半期の進捗状況（目標の達成に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした　※箇条書きで記載する	いつ（年月）	アウトプット
実施内容	①運行指針に基づき、いきいき号を運行した。	H28.4～	市民サービス
	②健康自生地との連携を図り、利便性の向上に努めた。	H28.6～	市民サービス
	③バス停と運行時間変更のために、高浜市地域公共交通会議を開催し、協議を実施した。	H28.8	市民サービス
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進んでいる。		
参画・協働・情報共有の工夫	★利用者、事業者、運転手等の関係者が参加する「地域公共交通会議」を開催し、いきいき号の路線等の見直しを検討した。		
実施内容に対する成果（事業の自己評価）	☆今後とも、利用者の意見を反映した利用しやすいバスの運行と交通安全に配慮したバスの運行に努める。		

⑤課題と今後の取組みの方向性（上半期を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
（1）利用者数の増加対策 ・平成 23 年度の市内コースの大規模な路線の見直しと刈谷市コースの新設で、これまで増加傾向であった利用者が、平成 27 年度に初めて減少した。	【8 月末利用者数】　単位：人 H28 / H27 / 比較 市内コース　8,156　7,998　158 土曜日コース　251　204　47 刈谷市コース　3,473　3,840　△367 合　計　11,880　12,042　△162 ・利用者の意見を反映した利用しやすいバスの運行に努める。 ・地域公共交通会議で、利用者の増加対策や利便性の向上、路線等の見直しなどを検討する。

⑥課題解決に向けた下半期の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする　※箇条書きで記載する	いつまでに（年月）
実施内容	①利用者の利便性の向上のため、バス停の移動と運行時間を変更する。	H28.10
参画・協働・情報共有の工夫	★利用者、事業者、運転手等の関係者が参加する「地域公共交通会議」を開催し、いきいき号の路線等の見直しを検討する。	

特記事項	